

第 49 号

発行所
相馬市中村 1 丁目 2-3
(公社) 相双法人会

発行人
只 野 裕 一

編集
広 報 委 員 会

発行日
平成 28 年 7 月 15 日

第4回通常総会を開催



六月十六日(木) ロイヤルホテル丸屋(南相馬市原町区)において、公益社団法人相双法人会として再発足してから、第四回通常総会が開催された。

総会会員親睦交流会



今年の懇親会にも相双管外から多くの方にご参加いただき、会社の現状・地元の復興状況・昔話などに花が咲き終始笑いの絶えない交流会となった。



NPO法人ハッピーロードネット理事長西本由美子氏による「ふくしま浜街道桜プロジェクト」30年後の故郷へくを開催しました。

**ふくしま浜街道
『桜プロジェクト』**

総会

会員約百名の出席のもと開催され、今年も避難先遠方より多くの会員に出席していただいた。

高橋徳副会長による開会の言葉にて総会が開始され、只野裕一会長から会員・来賓の皆様に対し、ご支援とご協力に対し感謝の意が述べられた後、永年役員表彰として遠藤義廣氏、福利厚生制度推進表彰として荒良範氏へ表彰状が授与された。次に藤田義明相馬税務署長並びに御代典文福島県相双地方振興局長からご祝辞を賜わり、只野会長を議長とし、議事に入った。

議事では、平成二十七年事業報告・平成二十八年事業計画・予算は理事会承認事項として報告された。また、平成二十七年決算が決議事項として提出され満場一致で可決された。

平成二十八年度の事業活動の重点施策として、税務行政への協力・健全な納税団体として公益性。会員企業支援活動の実施や社会貢献度を高めることとする。また、遠方へ避難している会員法人・一般法人・住民の方への復興支援に関わる事業活動を積極的に行い、情報提供や親睦交流を図る事業を実施する。



開会のあいさつ
高橋 徳 副会長



只野 裕一 会長あいさつ



相双地方振興局 局長
御代典文 様



相馬税務署 署長
藤田 義明 様

相双法人会表彰

平成28年度表彰者(敬称略)の方々の内、相双法人会総会席上で表彰を受けた方々。

※ 表彰規程に基づく表彰

○ 役員表彰(理事以上役職10年以上)

遠藤 義 廣

○ 福利厚生制度(経営者大型総合保障制度)推進表彰
受託会社職員の部(大同生命保険株式会社)

銀賞 荒 良 範

○ 東北六県法人会連合会表彰

(11月に平成28年度運営協議会席上で表彰予定)

横山 佳 弘

朝田 宗 弘

神長倉 豊 隆

上部組織表彰

平成28年度表彰者(敬称略)の内、福島県法人会連合会総会席上(6月21日)で表彰を受けた方々。

○ 公益財団法人 全国法人会総連合功労者表彰(伝達)

八 卷 正 隆

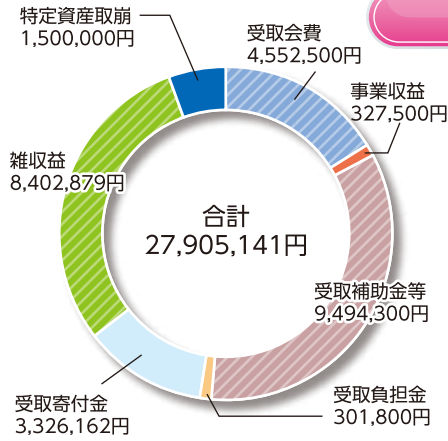
菊 地 逸 夫

○ 一般社団法人福島県法人会連合会表彰

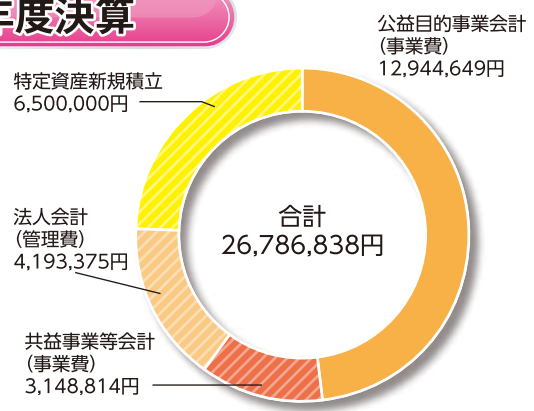
※ 単位会役員表彰

遠藤 義 廣

平成27年度決算

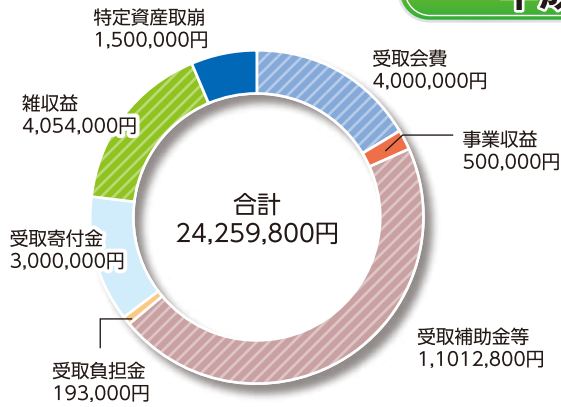


収益の部

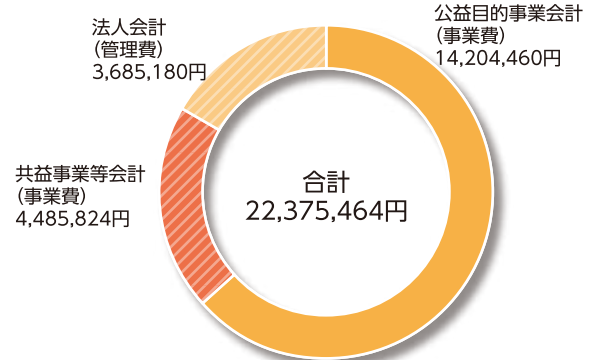


費用の部

平成28年度予算



収益の部



費用の部

詳細については、ホームページをご覧ください。

〈 福利厚生制度推進表彰 〉 相双法人会総会席上にて表彰



荒 良範 氏

〈 相双法人会役員表彰 〉 相双法人会総会席上にて表彰



遠藤 義廣 氏

〈 全法連功労者表彰 〉 福島県法人会連合総会席上にて表彰



八巻 正隆 氏

〈 全法連功労者表彰 〉 福島県法人会連合総会席上にて表彰



菊地 逸夫 氏

相双法人会入賞作品



【相双法人会 女性部会長賞】
飯館村立 白石小学校
細杉 れいみさん



【相双法人会 会長賞】
南相馬市立 原町第二小学校
佐藤 愛莉さん



【相双法人会 入賞】
南相馬市立 上真野小学校
小林 衿里奈さん



【相双法人会 入賞】
相馬市立 飯豊小学校
桑折 優妃さん



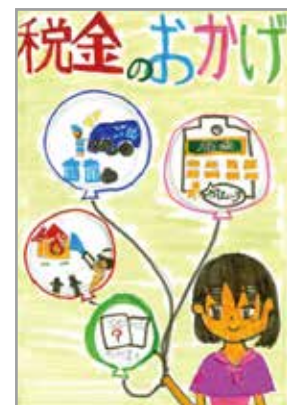
【相双法人会 入賞】
相馬市立 飯豊小学校
持館 望瑛さん



【相双法人会 入賞】
南相馬市立 原町第三小学校
菊地 心愛さん



【相双法人会 入賞】
飯館村立 草野小学校
木幡 和真くん



【相双法人会 入賞】
広野町立 広野小学校
新妻 愛奈さん



【相双法人会 入賞】
南相馬市立 上真野小学校
浅海 歩乃花さん



【相双法人会 入賞】
南相馬市立 鹿島小学校
菅原 詩那さん

税の絵はがきコンクール

女性部会(番場部会長)の税に関する絵はがきコンクールの審査会が、一月二十九日ホテルふたばや(相馬市)で開かれた。

審査会には、只野会長、番場女性部会長はじめ五名の役員、専門職として藤田相馬税務署長を審査員として招いた。応募総数十六校二百九十六点の中から五十六点の入賞作品を選び、うち十点を福島県連審査会に推薦した。

相双法人会会長賞には佐藤愛莉さん(南相馬市立原町第二小学校六年)、女性部会長賞に細杉れいみさん(飯館村立白石小学校六年)が選ばれた。二月八日に行われた県連審査会において、細杉さんの作品が相双法人会代表作品に選ばれた(県連応募総数四千九百三十点)。

三月十五日、会長賞と女性部会長賞を受賞した児童のもとに番場部会長が表彰伝達式へ向かった。



会長賞
佐藤愛莉さん



女性部会長賞
細杉れいみさん

租税教室

一月に入り昨年の十二校に続き、相馬市の日立木小学校、原町区の大甕小学校にて租税教室を開催した。

両小学校とも現在社会の授業で税の分野を学んでいるため、税への関心が高く、DVD鑑賞や税金を納める大切さなどの話にも積極的に参加している様子だった。また、レプリカの一億円を持つてみて、自分たちに掛かっている税金がどれほど大きな金額か体感した。今年度の租税教室では、十四校・二百二十四名の児童が税の大切さについて学んだ。



講師の指導にも熱が入る
(日立木小学校)



みんなで集合写真
(大甕小学校)

総会記念講演会

浜街道桜プロジェクト
30年後の故郷へ



今年、広野町で活動するNPO法人ハッピーロードネット理事長西本由美子氏に講演を依頼し、会員・一般の方を含め約六十名が参加した。

今回の桜プロジェクトは、震災以前に浜街道を桜でいっぱいにする計画をしていたが、震災により沿岸部に甚大な被害を受けたため行っていないが、地元の高校生と交わした約束を実現するため、海沿いではなく、国道六号線沿いを桜でいっぱいにし、世界に誇れる浜街道にしようとしてスタートした。しかし、始めは苦労の連続だった。桜を購入するための資金はどうするか、管理維持をどのように行っていくか、など様々な壁にぶつかりながらも、平成二十四年に新地町を皮切りに地元の中高生、ボランティアの方とスタートした。

活動を始めてから今まで約八千本の桜の苗木を植樹し、今後七年の間に全部で二万本を植える計画をしている。また、四年後の東京オリンピックでは六号線沿いの桜並木を聖火ランナーが通過できるように誘致活動を続けている。

桜の植樹以外にも、昨年からは国道六号線沿いの一斉清掃ボランティア活動を五年ぶりに再開し、いわき・相双地区の高校生が主体となり、青年会議所や地元住民企業の方々の協力により約千四百人が参加し開催された。

今回の講演で、人と人との絆を大切にす西本氏の姿勢に会場は感動に包まれた。

講演終了後、只野会長より今後のハッピーロードネットの活動へ少しでも役立てていただけるようにと寄付金を贈呈し、番場女性部会長、永橋女性部会幹事より花束と、記念品の贈呈を行った。



決算法人・新設法人説明会

2/10

原町商工会議所(原町区)

平成二十七年第四回の決算法人説明会と、新設法人説明会が開催された。決算法人説明会には二十社の参加。新設法人説明会には、十社が参加した。講師は相馬税務署から担当官を迎えて行った。



決算法人説明会

新設法人説明会

復興支援新春講演会

己抄呼〜Misako〜笑っ体操

3/9 ロイヤルホテル丸屋(原町区)

健康体操研究家・健康アーティストの己抄呼先生にお願いをして講演会を開催した。

演題は「感動！感激！納得！の健康アドバイス」。

当日は会員・一般の参加者合わせて三十八名が参加した。

講演では、己抄呼先生がユーモアを交えながら、日常生活の中で行える簡単な健康体操の指導を受けた。参加者は普段使わない体の部位の動かし方を始め、己抄呼先生が考案した「ろっ骨エクスサイズ〜KaQiLa〜カキラ」など取り入れ指導していただき、終始笑いの絶えない時間となった。

終了間際には、講演中の参加者の様子をスライドショーで流しながら、相双地区の今後の復興・発展について温かく、力強い言葉を頂いた。



南相馬市鎮魂復興植樹祭

3/27

菅浜長沼内浜周辺 (南相馬市原町区)

今年で、三回目となる「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」に当会の会員と家族が参加した。

この活動の趣旨は、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた沿岸部に、「いのちを守る森の防災林」と「鎮魂の森」を作ること、を目的に市が主催したもので、復興交付金等を活用し、木材や土砂などの瓦礫で盛土造成した土地に防潮林を整備していくものである。

『瓦礫(がれき)を活かす森の長城プロジェクト』が苗木のタブノキ・シラカシ・アカガシなど十六種類二万本と植樹資材を提供した。命の宿っていたところに、命を再生させる”

をキャッチフレーズに県内外よりボランティア約二千名が集まった。植え付けける土には、津波で発生したコンクリートガラや大小の石が混



じった土砂で、壊れた家屋の一部や木片などが混じっていた。

当会からは移植ゴテや軍手などを提供した。

植樹祭には只野会長、志賀小高支部長、番場女性部会長ほか十六名の会員が参加した。また、全法連女性部会連絡協議会吉田会長はじめ、福島県法人会連合会丹治専務理事、A I U 損害保険(株)関係者約七十名が全国各地から駆けつけていただいた。

当日は、春の温かさを感じながら、犠牲になられた方々の鎮魂を祈り、私たちと子供たちの未来を守る礎にこの思いで、植樹活動を行った。



**全国女性フォーラム
「福島大会」**

四月十四日郡山市にて、全国法人会
総連合の主催で全国女性フォーラムが
開催された。大会の趣旨は、部会員の資
質向上と情報共有による法人会活動の
さらなる充実。活性化を目的に毎年行
われており、今年で十一回目になる。

当日会場には、全国から約千八百名
の女性経営者が一堂に会した。当会は
来賓・一般参加者の受付、クローク誘導
を担当し、番場部会長はじめ、女性部会
員十四名が参加した。また、青年部会か
らも当日の会場お手伝いとして、朝田
部会長のほか七名の青年部会員が応援
に駆けつけてくれた。

今回の大会テーマは、「心ひとつに
伝えよう 繋ごう 創ろう 福島か
ら」この度の震災により、大地震、大津
波と東京電力原発事故の三重苦を強い
られた福島県。五年の月日が経っても
未だ帰還困難区域や、風評被害が消え
ないというのが現状である。来場した
方々を通じて
福島県の食の安
全性を理解し
てもらい、全
国に発信して
いただきたい。



記念講演会では、フリーアナウン
サーの大和田新さんによる「伝える事
の大切さ、伝わる事のすばらしさ」を
テーマに行われた。大和田さんは震災
で体験した、地震・津波・原発事故、その
後の風評被害と戦う福島県を、ニュー
スでは流れない生の現状をお話した
だき、会場は涙に包まれた。

大会式典では、ご来賓の方々より祝
辞をいただき、来年度全国大会開催地
の鹿児島県女性部会の方から、大会に
対する意気込みを伝えた。
懇親会には、福島県の食の安全性を
アピールする場として、県内産の食材
を使用し味覚と視覚で楽しんでいただ
いた。



**香川県大川法人会女性部会・
千葉県木更津法人会女性部会
より支援金が届きました**

平成二十七年十二月二十四日（木更
津法人会）、平成二十八年三月三日（大
川法人会）に今年で三年続けて両法人
会女性部会より支援金を頂いた。

平成二十八年三月二十五日、相双法
人会女性部会（番場三和子部会長は、
広野町にある「NPO法人ハッピー
ロードネット」へ寄付金の贈呈式を
行った。

今後も相双地区のためになることを
続けていきたいという気持ちに対し
て、大川法人会・木更津法人会両女性
部会の温かな気持ちを今後の活動に役
立てて欲しいと贈った。

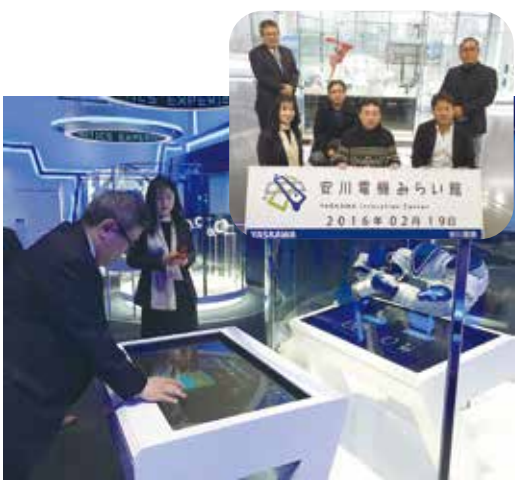


**青年部会視察研修会
（福岡県北九州市）**

二月十八日、相双法人会青年部会は
福岡市・北九州市で視察研修会を行
い、朝田部会長始め四名の青年部会員
が参加した。

視察場所は、北九州市に本社を置く
安川電機と小倉城。安川電機はロボッ
ト研究のトップメーカーであり、参加
者は最先端の技術を学んだ。小倉城で
は過去に九州各地に通ずる街道の起点
となった場所の歴史などに触れてき
た。

また、北九州の八幡法人会青年部会
と交流会を行い、相双の現状や、経営
に関する情報交換などを行い親睦を深
めてきた。



ビッグハート・ネットワーク支援金贈呈

「ビッグハート・ネットワーク」とは、法人会会員のみなさまからお知り合いの企業経営者さまをご紹介いただき、会員専用の福利厚生制度である「経営者大型総合保障制度」にご加入いただいた場合、受託会社である大同生命・A I U損害保険がその収益の一部で社会貢献事業を支援する「ご紹介と社会貢献のネットワーク」です。

昨年度は浪江町・双葉町・大熊町・飯舘村・富岡町の五町村へ赴き渡しました。

今年度は、葛尾村・川内村・楡葉町・広野町・南相馬市・相馬市・新地町の七市町村へ只野会長、大同生命橋内支社長、A I U損害保険豊福支店長が赴き、復興に役立てていただけるよう各市町村の代表へお渡ししました。

2月4日(木) 葛尾村



(左から)
大同生命 橋内支社長
葛尾村 松本参事
法人会 只野会長
大同生命 木村本部長
AIU 豊福支店長

2月4日(木) 川内村



(左から)
AIU 豊福支店長
大同生命 橋内支社長
大同生命 木村本部長
法人会 只野会長
川内村 遠藤村長

2月15日(月) 楡葉町



(左から)
AIU 豊福支店長
楡葉町 松本町長
法人会 只野会長
大同生命 橋内支社長

2月15日(月) 広野町



(左から)
AIU 豊福支店長
広野町 大和田参事
法人会 只野会長
大同生命 橋内支社長

2月15日(月) 南相馬市



(左から)
大同生命 橋内支社長
法人会 只野会長
南相馬市 桜井市長
AIU 豊福支店長

2月16日(火) 相馬市

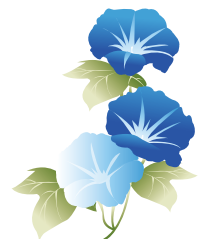
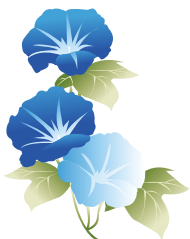


(左から)
AIU 豊福支店長
大同生命 橋内支社長
法人会 只野会長
相馬市 佐藤副市長
大同生命 木村本部長

2月16日(火) 新地町

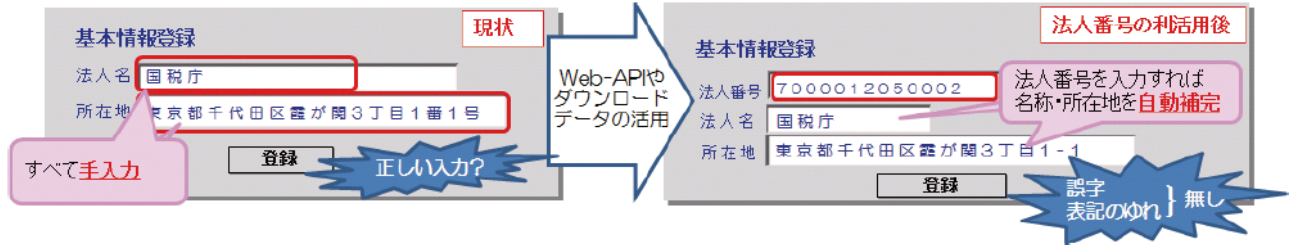


(左から)
AIU 豊福支店長
大同生命 橋内支社長
法人会 只野会長
新地町 加藤町長
大同生命 木村本部長



法人番号の活用方法のご紹介【Web-API 等を用いた各種会計ソフトの有効活用】

1 取引先情報等の入力補助による効率化



ウェブサイトや業務システムで行う法人情報の入力補助機能として、法人番号を活用することができます。

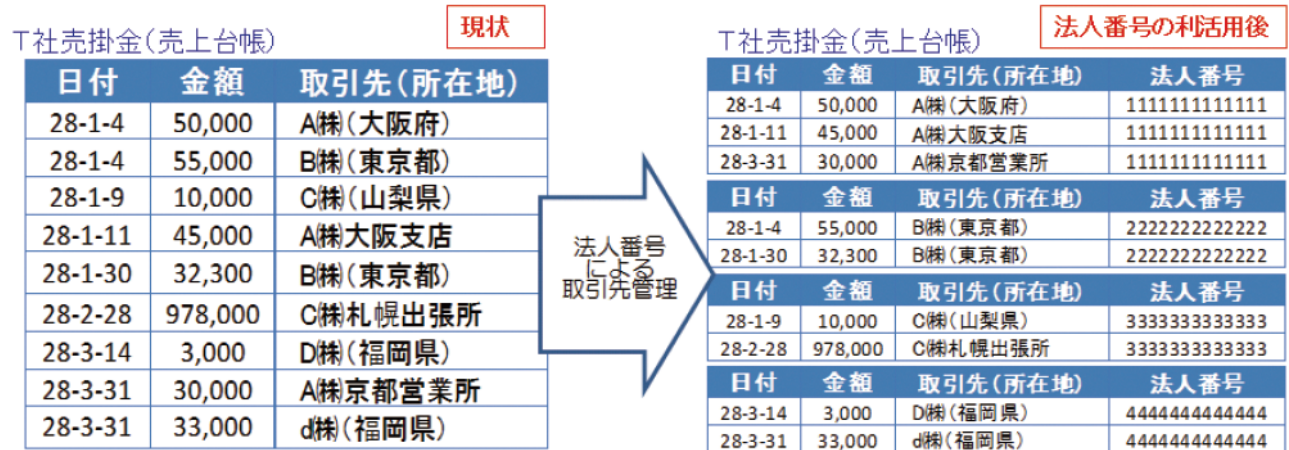
【現状】

法人名及び所在地といった法人の基本情報をすべてキーボードから入力しています。この場合、誤入力や、表記のゆれにより、取得した情報を活用する際に問題が生じることがあります。

【法人番号の利活用後】

Web - API 又はダウンロードデータを活用することで、法人番号だけ入力すれば、法人番号公表サイトで公表している「法人名」「本店所在地」の情報を自動的に補完入力する機能を追加することができます。これにより、誤入力や表記のゆれによる問題が解消できるほか、入力作業の効率化にもなります。

2 売掛金管理等、会計業務の効率化・自動化



各社売掛金（売上台帳）の管理を、法人番号付きで行うと、取引先ごとの集計が容易になります。

【現状】

売掛金（売上台帳）の管理を、取引発生日ごとに記載（入力）しています。

【法人番号の利活用後】

法人番号付きで売掛金（売上台帳）の管理を行うと、法人番号をキーに、取引先ごとの集計が容易になります。また、支店・出張所との取引であっても、本店と同一の法人番号であることから、取引先ごとの集計を確実に行うことができます。



法人会の経営者大型総合保障制度
**広げよう
 企業保障の
 大きな傘を**

法人会の「経営者大型総合保障制度」は
 昭和46年に発足し、
 会員のみなさまと共に歩んでまいりました。
 これからも会員のみなさまを
 お守りしてまいります。

DAIDO 大同生命保険株式会社

郡山支社 相双営業所/
 福島県南相馬市原町区旭町4-91-17
 (あいおいニッセイ同和損保原町ビル3F)
 TEL 0244-24-2646

AIU 損害保険株式会社

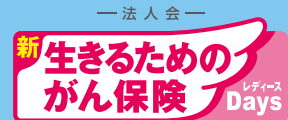
郡山支店/福島県郡山市中町1-22
 (郡山大同生命ビル6F)
 TEL 024-932-0822

法人会会員企業にお勤めの皆様は、お一人からでも集団取扱の割安な保険料でご加入いただけます。

選ぶなら、
 がんの治療に
 幅広く対応した
がん保険。



はじめてダック



◎商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。

(引受保険会社) **アフラック** (アメリカンファミリー生命保険会社) 郡山支社
 〒963-8005 福島県郡山市清水台 2-13-23 郡山第一ビル 5F

※今後の対応は担当の募集代理店が行ないます。
 法人会フリーダイヤル ☎ **0120-876-505** AF法推-2016-0035-1607049 6月22日

今年の七月十二日にJR常磐線の原ノ町駅〜小高駅間の運転が再開します。また、今年中に相馬駅〜浜吉田駅間の運転が再開する方針が固まったことにより、震災以前のような仙台方面からの通勤や、仙台方面への通勤の利便性が上がります。交通の便がよくなることにより様々な効果が期待できます。まずは、地域外からの雇用促進。また、地元の高校生が仙台方面へ進学する際に、震災以降は交通の便が悪いため一人暮らしを始め、そのまま地元に戻らず就職する方が多くいると聞いていましたので、これを機に地元に戻ってくる若者が増えてくれれば地元の活性化にもつながると考えられる。

今後双葉地方でも除染作業が進み、2019年度末までには常磐線の全線運転再開の見通しが立っており、2020年に開催される東京オリンピックの時には多くの観光客の方に訪れていただき、相双地区が復興を遂げた姿を見ていただければと思います。

(一)

編集後記

